



ならコープ
エネルギー政策の
具体化に向けて

はじめに

ならコーポは、家族の健康と安全な食卓を願う市民が小さな力を寄せ合って設立した生協であり、「たすけあい・ささえあい・わかちあい」のもとに吉野共生プロジェクトを推進し、県民のくらしの向上と奈良県の産業振興に注力しています。

2012年2月、「2020年に向けたならコーポの新たな環境政策」を策定し、原発に頼らない社会の実現を前提に、奈良の地での資源循環型社会の形成と温室効果ガスの排出削減に積極的に取り組み、環境経営のトップランナーとして新たな価値の創出をめざすことを決意しました。2014年にはエネルギー政策を策定し、原子力発電への依存を段階的に軽減し、原子力発電に頼らない社会への転換をめざし積極的に再生可能エネルギーを活用することや、再生可能エネルギーに関心を持つ各種団体と連携することを目指し、取り組んできました。2016年4月の電力小売自由化によって組合員のくらしを取り巻く環境は大きく変化します。一人ひとりがエネルギーに関する理解を深めるとともにならコーポが率先して再生可能エネルギーの普及に努め、奈良で作ったエネルギーを地域で分け合う自立分散型エネルギー社会の実現に向けた取り組みをすすめています。

太陽光発電システムのこれまでの実績とこれからの設置計画

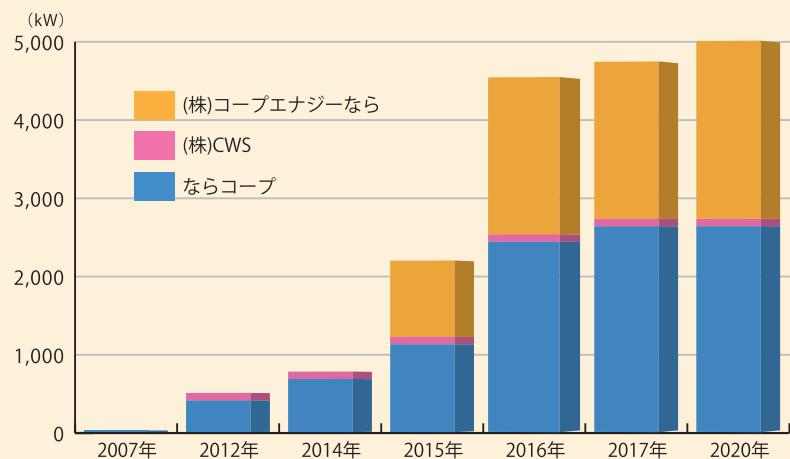
2017年度末で4,735kWの発電容量になる見込みです。また、2020年度までに5,000kWの設置を目指して取り組み、2020年度の再生可能エネルギーによる年間発電量を2020年度電力使用量15,000MWh(予測)の30%まで高めることを目指します。

【ならコーポグループ太陽光発電施設年度別設置容量】

単位(kW)

企業名	施設年度	2007年	2012年	2014年	2015年	2016年	2017年	2020年
ならコーポ		20	385	273	444	1,309	200	
(株)CWS			95					
(株)コーピエナジーなら					975	1,034		265
年度合計		20	480	273	1,419	2,343	200	265
累計		20	500	773	2,192	4,535	4,735	5,000

※2016年以降は計画数値



ならコープグループの自立分散型エネルギー社会の実現に向けた取り組み

太陽光発電施設を
8事業所に設置

太陽光発電施設は2007年に西奈良支所で発電を開始し、2015年度末までに2,192kW(8事業所)の発電容量になりました。



写真はコープみみなしの屋上に設置された太陽光発電です。

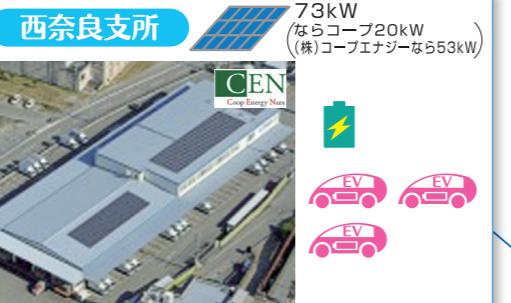
木質ペレット
ストーブを
6台設置

2015年度に木質ペレットを燃料とする「ペレットストーブ」をならコープグループで5事業所に設置しました。木質ペレットは再生可能エネルギーでCO₂排出量においてカーボンニュートラル*であることから注目されています。奈良県の豊富な森林資源を活用する木質ペレットの利用を模索し、地産地消のサイクルを目指します。

*カーボンニュートラルとは
排出される二酸化炭素と吸収される二酸化炭素が同じ量であるという概念



本部事務棟に設置した
木質ペレットストーブ



蓄電池の配置

11事業所に18台の蓄電池を設置し、大規模災害時の停電対応の非常用電源として活用できるように準備をすすめました。



電気自動車の配置

2015年度に電気自動車を15台配置しました。2017年度までに50台の電気自動車を配置する予定です。電気自動車の導入によりガソリン使用量を削減し、CO₂排出量の削減に努めます。また、災害時には電気自動車で電気を移動し、電源として活用ができるように準備しています。



(株)コープエナジーなら

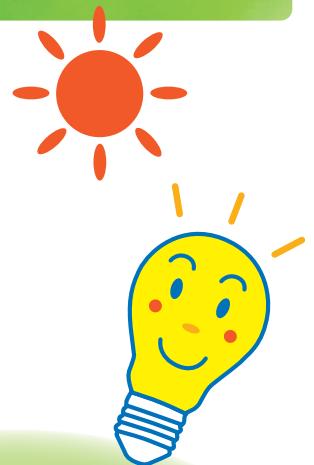


発電事業を目的に設立したならコープグループ企業。太陽光・水力や森林資源など再生可能エネルギーを活用した発電所の開発をすすめています。

これからの取り組み

現在、私たちがエネルギー源として大きく依存している化石燃料や原子力から得られるエネルギーを利用する社会から自立分散型エネルギー社会への転換を目指し、ならコーポグループではエネルギー政策を実現するための基本3原則を定めます。

「つくる・減らす・自立する」を組合員と共に取り組み、持続可能な地域社会づくりを目指します。



つくる

地域や家庭での太陽光発電施設・太陽熱温水器の普及をすすめます。

減らす

店舗や施設、家庭での省エネをすすめます。

自立する

エネルギーを「つくる」「減らす」とあわせ蓄電池の導入をすすめて使用する。エネルギーの外部依存からの脱却を目指します。

具体的な4つの取り組み

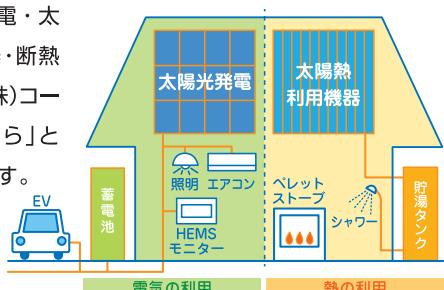
「再エネ基金」の設立

みんなで省エネや、再生可能エネルギーを広げる運動をすすめます。「再エネ基金」で、さらに「再エネ」を増やしていきます。



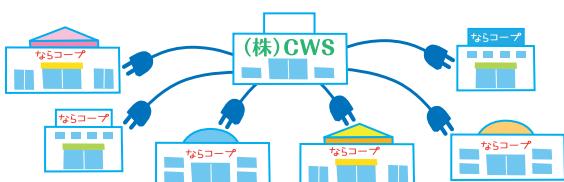
エネルギー・シフト

エネルギーの基本3原則を実現するために、組合員向けに太陽光発電・太陽熱利用機器・断熱窓の案内を「(株)コーポエナジーなら」と共に開始します。



小売電気事業

ならコーポグループ事業所(4支所、10店舗、並びに天理センターなど)への大口電気供給を2016年度中に子会社である(株)CWSが実施します。また、組合員向け電気供給は2017年度中の開始を目指し準備します。



学習会

組合員向け学習会を定期的に開催します。また、環境家計簿の取り組みや省エネの取り組みを組合員と共にすすめます。





ならコーブは、JAならけん・
奈良県森林組合連合会と共に
吉野の森と水を守る取り組みをすすめています。

市民生活協同組合ならコーブ*

発行 CSR組織広報部 奈良市恋の窪一丁目2番2号 TEL.0742(34)8735
ホームページ <http://www.naracoop.or.jp/>



国際規格であるISO9001：2008品質マネジメントシステム及び
ISO14001：2004環境マネジメントシステムの認証を取得しています。